

1. K603060045<Pre 医中誌>

下腿不全穿通枝は術後に逆流が消失するか? 膝窩静脈圧迫法による評価

Author : 松原進(広島逋信病院 放射線室), 杉山悟, 宮出喜生, 因来泰彦

Source : 静脈学(0915-7395)21 卷 2 号 Page159(2010.05)

論文種類 : 会議録

2. K603060026<Pre 医中誌>

stripping 術後に残存する下腿部伏在静脈の逆流および不全穿通枝と静脈機能

Author : 杉山悟(広島逋信病院 外科), 宮出喜生, 因来泰彦, 松原進

Source : 静脈学(0915-7395)21 卷 2 号 Page150(2010.05)

論文種類 : 会議録

3. 2010045381

Ambulatory Phlebectomy による静脈瘤手術

Author : 杉山悟(広島逋信病院), 瀬分均, 因来泰彦

Source : 逋信医学(0387-1320)61 卷 4 号 Page240-245(2009.10)

論文種類 : 解説

シソーラス用語 : Epinephrine(治療的利用); プレチスモグラフィ; Propofol(治療的利用); 外来手術; *下肢(外科的療法); 局所麻酔; 術後管理; 静脈内麻酔; *静脈瘤(外科的療法); 術前診断

医中誌フリーキーワード : Target Controlled Infusion; 空気プレチスモグラフィ

Abstract : 下肢静脈瘤治療を日帰りまたは 1 泊 2 日の短期入院だけで行おうとすると、さまざまな工夫や注意が必要である。外来で行う術前検査のシステムを確立し、手術および周術期の説明、麻酔、術後合併症対策などに十分な配慮が必要である。われわれが現在行っている下肢静脈瘤手術の具体的な方法とその工夫点について報告する。(著者抄録)

4. 2009300432

下腿不全穿通枝の評価法の考案とその評価(膝窩静脈圧迫法)

Author : 松原進(広島逋信病院 放射線室), 杉山悟

Source : 超音波検査技術(1881-4506)34 卷 4 号 Page453-458(2009.08)

論文種類 : 原著論文/比較研究

シソーラス用語 : 圧力; 下腿(超音波診断); *膝窩静脈(超音波診断); *静脈不全(合併症,超音波診断); 静脈瘤(超音波診断,合併症); 微小循環; 伏在静脈(超音波診断); 重症度指標; *パルス Doppler 超音波診断

チェックタグ : ヒト; 中年(45~64); 老年者(65~79); 男; 女

Abstract : 下腿穿通枝における新たな不全穿通枝(IPV)の評価方法を考案し、従来のミルキ

ング法との比較評価を行った。未治療の大伏在型一次性静脈瘤で、2mm 以上の下腿穿通枝を有した 75 例 81 肢、下腿穿通枝 99 本を対象とした。ミルキング法のみで不全を認めるものを M 群、圧迫法のみで不全を認めるものを C 群、両法とも認めるものを MC 群、両法とも逆流ドプラシグナルを認めなかったものを NP 群とした。下腿穿通枝 99 本において逆流ドプラシグナルを認めたもの 48 本で、ミルキング法で認めたもの 17 本、圧迫法で認めたもの 48 本であった。ミルキング法で逆流ドプラシグナルを認めたものはすべて圧迫法でも認めた。血管径において、MC 群と C 群、MC 群と NP 群の群間に有意差を認めた。C3-4 における 12 本の穿通枝径は 2.4mm で、圧迫法では 11 肢に定常波の逆流ドプラシグナルを認めたが、ミルキング法で認めたのは 6 肢で、有意差を認めた。

5. 2009284022

下肢静脈瘤に対する小切開瘤切除

Author : 杉山悟(広島通信病院), 瀬分均, 因来泰彦

Source : 通信医学(0387-1320)61 巻 3 号 Page178-181(2009.07)

論文種類 : 原著論文/症例報告

シソーラス用語 : *下肢(外科的療法); 血管外科; 静脈内麻酔; *静脈瘤(外科的療法); 神経ブロック; 大腿神経

医中誌フリーキーワード : 医療用粘着テープ

チェックタグ : ヒト; 中年(45~64); 女

Abstract : 下肢静脈瘤の基本的な手術手技はストリッピング術である。近年はレーザー、高周波などの低侵襲治療が行われつつあるが、下腿の瘤切除はそれらと組み合わせる基本的な術式である。われわれは、ValadyNo3 フックを用いた瘤切除術を行い、皮膚縫合をほとんど行わない美容的にも優れた治療を行っているので、その具体的方法を報告する。(著者抄録)

6. 2009270552

下肢静脈瘤に対する Varady hook No3 を用いた stab avulsion の工夫

Author : 杉山悟(広島通信病院), 因来泰彦, 松原進

Source : 静脈学(0915-7395)20 巻 2 号 Page151(2009.06)

論文種類 : 会議録

シソーラス用語 : *下肢(外科的療法); *血管外科; *静脈瘤(外科的療法)

チェックタグ : ヒト

7. 2009270498

下肢腫脹の治療、画像診断 一次性下肢静脈瘤 Duplex 検査における逆流評価は立位で行うべきか

Author : 松原進(広島通信病院 放射線室), 杉山悟, 因来泰彦

Source : 静脈学(0915-7395)20 卷 2 号 Page123(2009.06)

論文種類 : 会議録

シソーラス用語 : *下肢(超音波診断); *静脈瘤(超音波診断); *二重 Doppler 超音波診断; 立位
チェックタグ : ヒト

8. 2009270464

ラジオ波による血管内治療

Author : 杉山悟(広島通信病院 外科)

Source : 静脈学(0915-7395)20 卷 2 号 Page103(2009.06)

論文種類 : 会議録

シソーラス用語 : *下肢(外科的療法,超音波診断); *静脈瘤(外科的療法,超音波診断); 超音波
診断; *電気凝固

医中誌フリーキーワード : *ラジオ波焼灼術

チェックタグ : ヒト

9. 2009214658

膿瘍形成を繰り返し,プラグの除去を施行した成人鼠径ヘルニア遅発性感染の 1 例

Author : 吉川武志(広島通信病院 外科), 杉山悟, 因来泰彦, 清水康廣

Source : 日本臨床外科学会雑誌(1345-2843)70 卷 5 号 Page1566-1571(2009.05)

論文種類 : 原著論文/症例報告

シソーラス用語 : **Staphylococcus aureus**; *外科用メッシュ(有害作用); 再発; *消化器外科; *
鼠径ヘルニア(外科的療法); ブドウ球菌感染症(病因); *腹部膿瘍(病因,X 線診断); *補綴関連
感染症(病因)

医中誌フリーキーワード : 腹部 CT

チェックタグ : ヒト; 中年(45~64); 男

Abstract : 症例は 46 歳,男性.7 年前に左鼠径ヘルニアに対し,mesh plug を用いたヘルニア
根治術を施行した.術後 3 年目,5 年目に膿瘍を形成し,切開排膿を行い,共に 3 ヶ月ほどで治
癒した.今回,3 度目の感染徴候が認められ,瘻孔形成を認めたため,摘出目的で入院となった.
創部からの培養検査では **Staphylococcus aureus** が検出された.手術時には瘻孔内へインジ
ゴカルミンを注入して瘻孔切除と plug の摘出を行った.このような症例で問題となるのは
mesh 除去の適応および時期であるが,これまでの報告例および自験例から,(1)遅発性感
染,(2)保存的治療にて 1 ヶ月以内に改善傾向が認められない,(3)保存的治療による軽快・再
燃を繰り返す,(4)瘻孔が存在する,(5)保存的治療中に mesh を触知する,といった場合には手
術を考慮すべきと考えられた.(著者抄録)

10. 2009184081

【がん治療の最前線】 進行・再発胃癌に対する 5FU+weekly paclitaxel の臨床効果

Author : 杉山悟(広島逡信病院 外科), 因来泰彦

Source : 逡信医学(0387-1320)61 卷 2 号 Page69-72(2009.04)

論文種類 : 原著論文/症例報告/特集

シソーラス用語 : *Fluorouracil(治療的利用,毒性・副作用); *胃腫瘍(外科的療法); 胃切除; 腫瘍多剤併用療法; 腫瘍再発; 腫瘍播種; リンパ性転移; 脱毛症(化学的誘発); 投薬計画; *副腎腫瘍(転移性,薬物療法); *腹膜腫瘍(転移性,薬物療法); *Paclitaxel(治療的利用,毒性・副作用); 致死的転帰

チェックタグ : ヒト; 中年(45~64); 老年者(65~79); 男; 女; 特集

Abstract : 症例 1:49 歳女。2 年前に進行胃癌で胃全摘術を受けたが、腹膜播種で再発した。閉塞性黄疸、腹部膨満のイレウスを認め、5FU 600mg/m²/day を day 1-5、paclitaxel 80mg/m² を day 8、15、22 に投与する併用療法を開始した。2 コース終了時点で腹水と播種性病変の退縮、イレウス緩和が得られ、4 コース終了後胆道ステントを留置し転院した。症例 2:67 歳男。胃癌および大動脈周囲リンパ節・副腎転移で胃全摘術を受け、術後 TS1 内服を行うも副作用で中止となった。症例 1 と同レジメンで投与を開始し、3 コース終了時に転移巣の縮小を認めた。最終的に 20 コースまで継続できたが、全身状態悪化し術後 4 年で死亡した。症例 3:57 歳男。2 年前に進行胃癌で胃全摘術を受けたが、腹膜播種で再発した。症例 1 と同レジメンで治療を継続し、1 年後腫瘍マーカーは正常値に復した。再発から 7 年以上経過し生存中である。症例 1 および 2 は重篤な有害事象はなく、症例 3 は grade 3 の白血球減少を認めた。

11. 2009142213

【すばやい連携に生かせる診断・治療のポイント 救急診療と血管検査】 救急疾患の診断と治療 末梢動脈瘤

Author : 杉山悟(広島逡信病院 外科)

Source : Vascular Lab(1349-4023)6 卷増刊 Page68-74(2009.04)

論文種類 : 解説/特集

シソーラス用語 : *膝窩動脈(X 線診断); 超音波診断; X 線 CT; *動脈瘤-感染性(X 線診断); *動脈瘤-偽性(超音波診断)

チェックタグ : ヒト; 特集

12. 2008316653

Trastuzumab による左室機能低下の 1 例

Author : 湯谷剛(広島逡信病院 第二内科), 杉山悟

Source : 広島医学(0367-5904)61 卷 7 号 Page599(2008.07)

論文種類：会議録/症例報告

シソーラス用語：胸部 X 線診断; 心エコー図; 僧帽弁閉鎖不全症(化学的誘発,X 線診断,超音波診断); *左心室機能障害(化学的誘発,X 線診断,超音波診断); *Trastuzumab(毒性・副作用)
チェックタグ：ヒト; 中年(45~64); 女

13. 2008261770

【最近の内視鏡手術とそれを取り巻く環境】 腹腔鏡下虫垂切除術の手術適応と実施環境

Author：杉山悟(広島通信病院 外科), 百木義光, 因来泰彦

Source：通信医学(0387-1320)60 巻 3 号 Page201-203(2008.06)

論文種類：解説/症例報告/特集

シソーラス用語：硬膜外麻酔; 全身麻酔; 虫垂炎(X 線診断,外科的療法); *虫垂切除; *腹腔鏡法

医中誌フリーキーワード：腹部 CT

チェックタグ：ヒト; 中年(45~64); 女; 特集

Abstract：虫垂切除術は、肥満症例では腹腔鏡手術の恩恵を受けやすい。また、術前診断が困難な症例では、腹腔鏡手術が有効である。卵巣の病変を同時に疑う場合にも有用である。また、創部感染の頻度が少ないといわれ、もし、感染しても傷が小さいため程度が軽い。今回、高度肥満症例を 1 例提示し、手術適応、実施する環境などについて考察した。(著者抄録)

14. 2008249220

下肢不全穿通枝の評価法の考案

Author：松原進(広島通信病院 放射線室), 杉山悟

Source：超音波検査技術(1881-4506)33 巻 2 号 Page204(2008.04)

論文種類：会議録

シソーラス用語：圧力; 下肢; *膝窩静脈(超音波診断); 静脈圧; *静脈不全(超音波診断); 静脈瘤(超音波診断)

チェックタグ：ヒト

15. 2008212598

下肢静脈瘤に対する大腿部ストリッピング術の妥当性

Author：杉山悟(広島通信病院), 百木義光, 因来泰彦, 松原進

Source：静脈学(0915-7395)19 巻 2 号 Page135(2008.05)

論文種類：会議録

シソーラス用語：プレチスモグラフィー; *下肢(外科的療法); 血管外科; *静脈瘤(診断,外科的療法); *伏在静脈(外科的療法)

医中誌フリーキーワード：空気プレチスモグラフィー

チェックタグ：ヒト

16. 2008212527

膝窩静脈圧迫法による下肢不全穿通枝の描出

Author：松原進(広島逓信病院 放射線室), 杉山悟, 百木義光, 因来泰彦

Source：静脈学(0915-7395)19 巻 2 号 Page96(2008.05)

論文種類：会議録

シソーラス用語：下肢(超音波診断); *膝窩静脈(超音波診断); *静脈瘤(超音波診断); 二重

Doppler 超音波診断

チェックタグ：ヒト

17. 2008151987

【的確な検査・診断のために知っておきたい 血管疾患の診断とモダリティー】 下肢静脈(表在) 血管造影

Author：杉山悟(広島逓信病院 外科), 清水康廣

Source：Vascular Lab(1349-4023)5 巻増刊 Page213-217(2008.03)

論文種類：解説/特集

シソーラス用語：*静脈造影; *静脈瘤(X線診断); 伏在静脈(X線診断)

チェックタグ：ヒト; 特集

18. 2008120309

手術手技 大伏在静脈静脈瘤の新しい内翻式ストリッピング手術

Author：清水康廣(広島逓信病院 外科), 杉山悟

Source：手術(0037-4423)62 巻 1 号 Page73-76(2008.01)

論文種類：解説

シソーラス用語：医学用イラストレーション; 外科用器具; *血管外科; *結紮; *静脈瘤(外科的療法); *伏在静脈(外科的療法)

チェックタグ：ヒト

19. 2008079972

【平成 17 年度 高度医療研究】 下肢静脈瘤に対するパルスヤグレーザーによるエンドレーザー法と高位結紮の併用術式

Author：杉山悟(広島逓信病院 外科), 清水康廣, 因来泰彦, 吉川武志

Source：逓信医学(0387-1320)59 巻 3 号 Page179-180(2007.06)

論文種類：原著論文/特集

シソーラス用語：*レーザー(治療的利用); *下肢(外科的療法); 血管外科; *結紮; *静脈瘤(外科的療法); 伏在静脈(外科的療法); 治療成績

医中誌フリーキーワード：*YAG レーザー(治療的利用)

チェックタグ：ヒト; 青年期(13~18); 成人(19~44); 中年(45~64); 老年者(65~79); 老年者-80歳以上; 男; 女; 特集

Abstract：下肢静脈瘤患者 62 例 69 肢(男 12 例・女 50 例・平均 60.3 歳)に対し、1320nm パルスヤグレーザーによるエンドレーザー法と高位結紮の併用を行った。大伏在静脈径は平均 6.4mm で、Air plethysmography による Venous Filling Index(VFI)は術前平均 4.0ml/sec であった。術後 1 ヶ月で、VFI は平均 1.0ml/sec に低下し、閉塞率は 100%であった。合併症は 1 週間での疼痛が 18 肢(うち Thrombophlebitis 6 肢)、中等度以上の皮下出血が 12 肢、1 ヶ月での疼痛は 5 肢、神経損傷 1 例であった。臨床上問題となる皮下血腫はなく、深部静脈血栓症、肺梗塞、死亡例などの重大な合併症もなかった。本法は閉塞率が高く、合併症も少ない有用な術式と考えられた。

20. 2008020145

腹腔鏡下胆嚢摘出術後早期に発生したポートサイトヘルニア嵌頓の 1 例

Author：大谷裕(広島逡信病院 外科), 因来泰彦, 杉山悟, 清水康廣

Source：日本内視鏡外科学会雑誌(1344-6703)12 巻 4 号 Page433-438(2007.08)

論文種類：原著論文/症例報告

シソーラス用語：*外科用器具(有害作用); 術後合併症; *腹壁ヘルニア(病因); *腹腔鏡下胆嚢摘出術(有害作用); 嵌頓(病因); *胆石(外科的療法)

医中誌フリーキーワード：*トロカール(有害作用)

チェックタグ：ヒト; 老年者(65~79); 女

Abstract：76 歳女。患者は以前から胆石症の存在は指摘されていたが、右季肋部に違和感も自覚するようになった。術前画像検査では著明に腫大した胆嚢内に複数の結石を認められ、Lap-C を施行し、逆行性に胆嚢の剥離を行ない、胆嚢を摘出した。術後 1 日目に肝床部のペンローズドレーンを抜去し、食事摂取を開始したが、術後 5 日目に腹部単純 CT 検査を施行したところ、鏡面像に加え、右細径トロカール刺入部直下の筋組織内に嵌入する腸管が確認された。そこでトロカール刺入部に関連する癒着性イレウスと診断し、術後 6 日目に開腹手術を施行した。そしてヘルニア門をモノフィラメント吸収糸で連続縫合して閉鎖し、嵌入した空腸の一部および下腹部正中創の直下に合成吸収性癒着防止剤を貼付し閉腹した。

21. 2007283218

一次性下肢静脈瘤に対する新しい治療機器の治療経験

Author：杉山悟(広島逡信病院 外科), 清水康廣

Source : 日本血管外科学会雑誌(0918-6778)16 卷 2 号 Page370(2007.04)

論文種類 : 会議録

シソーラス用語 : *下肢; 機器と資材用品; *静脈瘤(治療)

チェックタグ : ヒト

22. 2007252726

パルス YAG レーザー併用ストリッピング法の有用性についての検討

Author : 吉川武志(広島逡信病院 外科), 清水康廣, 因来泰彦, 杉山悟

Source : 日本外科学会雑誌(0301-4894)108 卷臨増 2 Page711(2007.03)

論文種類 : 会議録

シソーラス用語 : *レーザー; *レーザー手術; *血管外科; *伏在静脈(外科的療法)

医中誌フリーキーワード : *YAG レーザー

チェックタグ : ヒト

23. 2007225546

下肢静脈瘤に対する新しい治療機器の手技上の工夫

Author : 杉山悟(広島逡信病院 外科), 清水康廣

Source : 静脈学(0915-7395)18 卷 2 号 Page119(2007.05)

論文種類 : 会議録

シソーラス用語 : レーザー手術; *下肢(外科的療法); 硬化療法; *静脈瘤(治療)

医中誌フリーキーワード : YAG レーザー(治療的利用)

24. 2007225526

下肢静脈瘤治療における硬化療法の位置付け 当院でのフォーム硬化療法の現状

Author : 清水康廣(広島逡信病院 外科), 杉山悟, 因来泰彦

Source : 静脈学(0915-7395)18 卷 2 号 Page109(2007.05)

論文種類 : 会議録

シソーラス用語 : 硬化剤(治療的利用); *硬化療法; *静脈血栓症(薬物療法)

チェックタグ : ヒト

25. 2007215802

消化器外科手術におけるドレーン使用の現況 広島 GIS クラブアンケート調査

Author : 大毛宏喜(広島大学 病態制御医科学講座外科), 藤本三喜夫, 杉山悟, 佐々木寛, 上川康明, 岡島正純, 今村祐司, 繁田直史

Source : 日本臨床外科学会雑誌(1345-2843)67 卷増刊 Page779(2006.10)

論文種類 : 会議録

シソーラス用語：*ドレナージ; アンケート; *消化器外科

チェックタグ：ヒト

26. 2007215628

腹腔鏡下虫垂切除術時に卵巣表面焼灼術を同時施行した多発性卵巣のう腫合併虫垂炎の一例

Author：杉山悟(広島通信病院), 因来泰彦, 吉川武志, 清水康廣

Source：日本臨床外科学会雑誌(1345-2843)67 巻増刊 Page735(2006.10)

論文種類：会議録/症例報告

シソーラス用語：焼灼法; *虫垂炎(外科的療法); *虫垂切除; *腹腔鏡法; *卵巣嚢胞(外科的療法)

チェックタグ：ヒト; 成人(19~44); 女

27. 2007215410

当院における Kugel 法の治療成績と術式の工夫について

Author：大谷裕(広島通信病院 外科), 因来泰彦, 杉山悟, 清水康廣

Source：日本臨床外科学会雑誌(1345-2843)67 巻増刊 Page678(2006.10)

論文種類：会議録

シソーラス用語：*外科用メッシュ; *消化器外科; *鼠径ヘルニア(外科的療法); 治療成績

チェックタグ：ヒト; 成人(19~44); 中年(45~64); 老年者(65~79); 老年者・80 歳以上; 男; 女

28. 2007215373

発症から 1 年以上経過した後に CT で診断しえた魚骨穿通による腹壁内膿瘍の 1 例

Author：吉川武志(広島通信病院 外科), 杉山悟, 因来泰彦, 清水康廣

Source：日本臨床外科学会雑誌(1345-2843)67 巻増刊 Page669(2006.10)

論文種類：会議録/症例報告

シソーラス用語：*異物(合併症,X 線診断); 魚類; 穿通創; *腹部膿瘍(病因,X 線診断)

医中誌フリーキーワード：腹部 CT

チェックタグ：ヒト; 老年者(65~79); 女

29. 2007214657

大伏在静脈瘤の新しい内翻式ストリッピング術

Author：清水康廣(広島通信病院), 杉山悟, 因来泰彦, 吉川武志

Source：日本臨床外科学会雑誌(1345-2843)67 巻増刊 Page478(2006.10)

論文種類：会議録

シソーラス用語：血管外科；*静脈瘤(外科的療法)

チェックタグ：ヒト

30. 2007214656

Day surgery で行う伏在型下肢静脈瘤の根治術

Author：杉山悟(広島逓信病院), 因来泰彦, 吉川武志, 清水康廣

Source：日本臨床外科学会雑誌(1345-2843)67 巻増刊 Page478(2006.10)

論文種類：会議録

シソーラス用語：*外来手術；*血管外科；*静脈瘤(外科的療法)

チェックタグ：ヒト

31. 2007214060

下肢静脈瘤に対する内視鏡下筋膜下穿通枝結紮術 One port system と two port system の比較

Author：杉山悟(広島逓信病院), 清水康廣, 因来泰彦, 吉川武志

Source：日本臨床外科学会雑誌(1345-2843)67 巻増刊 Page323(2006.10)

論文種類：会議録

シソーラス用語：下肢；筋膜；*血管外科；*静脈瘤(外科的療法)；*内視鏡法；*腹腔鏡法

医中誌フリーキーワード：*内視鏡的筋膜下穿通枝手術

チェックタグ：ヒト

32. 2007144731

外来化学療法により癌性腹水を長期にわたりコントロールし得た腹膜播種を伴う高度進行胃癌の1例

Author：大谷真二(広島逓信病院 外科), 清水康廣, 杉山悟, 宮出喜生, 二宮基樹

Source：癌と化学療法(0385-0684)34 巻1号 Page85-87(2007.01)

論文種類：原著論文/症例報告

シソーラス用語：Cisplatin(治療的利用)；Fluorouracil(治療的利用)；*胃腫瘍(薬物療法)；*外来治療；腫瘍多剤併用療法；腫瘍播種；腹水；*腹水症；*腹膜腫瘍(転移性)；Paclitaxel(治療的利用)；TS-1(治療的利用)

チェックタグ：ヒト；中年(45～64)；男

Abstract：症例は 54 歳、男性。多量の癌性腹水を伴う高度進行胃癌と診断され、TS-1 と docetaxel(DOC)による化学療法を行い、約 4 ヶ月の間腹水の消失を得た。その後、再度腹水貯留を来したため 5-FU と paclitaxel(PTX)による化学療法を行ったが奏効せず、低用量 CDDP の腹腔内投与を開始し、総投与量が 100mg となった時点で腹水はほぼ消失した。以後、5-FU 静脈内投与を併用した低用量 CDDP 腹腔内投与を行い、腫瘍マーカーの改善と

播種性病変の縮小を認めた。新規抗癌剤や低用量 CDDP による腹腔内化学療法を種々組み合わせることで、予後不良な癌性腹水を伴う高度進行胃癌を長期にわたり病勢を制御でき QOL を改善し得た。診断から死亡までの期間は 14 ヶ月であった。(著者抄録)

33. 2007073929

下肢静脈瘤に対する Foam sclerotherapy の治療成績

Author : 杉山悟(広島逡信病院 外科), 清水康廣, 因来泰彦, 大谷裕

Source : 逡信医学(0387-1320)58 卷 4 号 Page260-262(2006.09)

論文種類 : 原著論文/比較研究

シソーラス用語 : *下肢; *硬化療法; *静脈瘤(治療); *伏在静脈; 血管内膜; 治療成績

チェックタグ : ヒト

Abstract : 下肢静脈瘤に対する Foam sclerotherapy の治療成績を報告した。1)本幹硬化療法。対象は大伏在静脈(LSV)径 8mm 未満、Venous Filling Index(VFI)5ml/sec 未満の LSV 瘤 34 肢で、LSV 高位と膝下結紮離断後カテーテルを挿入し、ボスミン添加 0.1%キシロカイン溶液を皮下注入後、泡状硬化剤を大伏在静脈内に注入して膝下と中枢で LSV を結紮した。VFI は術前 2.3ml/sec が術後 1 ヶ月 1.4ml/sec に低下した。また、閉塞率は術後 3 ヶ月 91.2%、6 ヶ月 85.3%、1 年 73.5%で、高位結紮と膝下結紮のみの 36 肢では 1 年後 19.4%と有意に低かった。2)内膜擦過法併用本幹硬化療法。対象は同条件の LSV 瘤 96 肢で、高位と膝下結紮・切離(HL)後にボスミン添加 0.1%キシロカイン溶液を皮下注入し、ブラシ付きワイヤーで LSV 内膜を擦過後カテーテルを LSV に引き込み泡状硬化剤で本幹硬化療法を行った。LSV の閉塞率は術後 3 ヶ月 100%、6 ヶ月 97%、1 年以上後 89%で、HL のみの 45 肢では 1 年以上で 22%と有意に低かった。

34. 2007031689

腹壁・腹壁癒痕ヘルニアに対する手術 Composix Kugel patchR にて修復した上腹部白線ヘルニアの 1 例

Author : 大谷裕(広島逡信病院 外科), 因来泰彦, 杉山悟, 清水康廣

Source : 日本外科系逡合学会誌(0385-7883)31 卷 4 号 Page772(2006.08)

論文種類 : 会議録/症例報告

シソーラス用語 : *外科用メッシュ; *消化器外科; *腹壁ヘルニア(外科的療法)

チェックタグ : ヒト; 成人(19~44); 男

35. 2007019660

進行癌患者に対する weekly paclitaxel+5-FU 療法 長期間 dormancy が得られている 2 症例について

Author : 大谷裕(広島逡信病院 外科), 因来泰彦, 杉山悟, 清水康廣, 二宮基樹

Source : 日本消化器病学会雑誌(0446-6586)103 巻臨増大会 PageA805(2006.09)

論文種類 : 会議録/症例報告

シソーラス用語 : *Fluorouracil(治療的利用); *胃腫瘍(薬物療法); 腫瘍多剤併用療法;
*Paclitaxel(治療的利用)

チェックタグ : ヒト; 中年(45~64); 男

36. 2006316218

上腹部白線ヘルニアの 1 例-Composix Kugel Patch による修復術の経験と術式の工夫

Author : 大谷裕(広島通信病院 外科), 因来泰彦, 杉山悟, 清水康廣

Source : 臨床外科(0386-9857)61 巻 8 号 Page1135-1138(2006.08)

論文種類 : 原著論文/症例報告

シソーラス用語 : *外科用メッシュ; *消化器外科; 超音波診断; X 線 CT; 腹部 X 線診断; *腹
壁ヘルニア(X 線診断,超音波診断,外科的療法)

医中誌フリーキーワード : 腹部 CT

チェックタグ : ヒト; 成人(19~44); 男

Abstract : 30 歳男.過去 10 年間で体重が 50kg 増加し,約 3 年前には食後の左季肋部の膨満感と皮膚の膨隆が出現した.今回,会社健診で左季肋部皮下腫瘍を認め,皮下脂肪腫と診断され受診した.画像検査で腫瘍内部の血流と筋膜の欠損を認め,上腹部白線ヘルニアと診断された.腹腔内からヘルニア囊と共に脱出した大網を超音波凝固切開装置で切除した後,Composix Kugel Patch を挿入し,J-VAC ドレーンを留置した.術直後は強い疼痛を認めた
が,徐々に軽快し,退院後の外来通院でも疼痛及び違和感の訴えはなく,自覚症状も認めていない

37. 2006285710

Microfoam sclerotherapy の有用性についての検討

Author : 清水康廣(広島通信病院 外科), 杉山悟

Source : 血管外科 23 巻 1 号 Page180-181(2004.11)

論文種類 : 会議録

シソーラス用語 : 下肢(外科的療法); *血管外科; 硬化剤(治療的利用); *硬化療法; *静脈瘤(外科的療法)

チェックタグ : ヒト

38. 2006259377

泡状硬化剤を用いた"サンドイッチ"による圧迫硬化療法

Author : 杉山悟(広島通信病院 外科), 清水康廣, 宮出喜生, 大谷真二

Source : 血管外科 24 巻 1 号 Page193(2005.11)

論文種類：会議録

シソーラス用語：下肢; 硬化剤(治療的利用); *硬化療法; *静脈瘤(治療)

チェックタグ：ヒト

39. 2006259370

泡状硬化剤による本幹硬化療法の有効性の検討

Author：清水康廣(広島通信病院 外科), 杉山悟, 宮出喜生, 大谷真二

Source：血管外科 24 巻 1 号 Page189(2005.11)

論文種類：会議録

シソーラス用語：下肢; 硬化剤(治療的利用); *硬化療法; *静脈瘤(治療); Polidocanol(治療的利用)

チェックタグ：ヒト

40. 2006259238

日帰り手術で行う選択的ストリッピングと硬化療法併用術式の現況

Author：杉山悟(広島通信病院 外科), 清水康廣, 宮出喜生, 山本澄治

Source：血管外科 21 巻 1 号 Page197(2002.12)

論文種類：会議録

シソーラス用語：*外来手術; 下肢(外科的療法); *血管外科; *硬化療法; *静脈瘤(外科的療法)

41. 2006259050

硬化療法の適応と限界 色素沈着を主訴として再発を来した症例

Author：杉山悟(広島通信病院 外科), 清水康廣, 宮出喜生, 土手英昭

Source：血管外科 20 巻 1 号 Page188-189(2001.10)

論文種類：会議録/症例報告

シソーラス用語：下肢; *血管外科(有害作用); *結紮(有害作用); *硬化療法(有害作用); 再発; *静脈瘤(治療); 皮膚色素沈着(病因)

チェックタグ：ヒト; 老年者(65~79); 女

42. 2006241485

下肢静脈瘤の新しい治療法の選択 7,000 肢を経験して

Author：杉山悟(広島通信病院 外科), 清水康廣, 因来泰彦, 大谷裕

Source：広島医学(0367-5904)59 巻 5 号 Page473(2006.05)

論文種類：会議録

シソーラス用語：レーザー手術; 下肢; 硬化療法; *静脈瘤(治療); 最小侵襲手術

医中誌フリーキーワード：併用療法

チェックタグ：ヒト

43. 2006201553

新しい伏在静脈瘤治療法 下肢静脈瘤の新しい治療法 内膜擦過法併用本幹硬化療法のその後の経過

Author：清水康廣(広島通信病院), 杉山悟

Source：静脈学(0915-7395)17巻2号 Page148(2006.05)

論文種類：会議録

シソーラス用語：下肢; *硬化療法; *静脈瘤(治療)

チェックタグ：ヒト

44. 2006201551

新しい伏在静脈瘤治療法 下肢静脈瘤に対するパルスヤグレーザーによるエンドレーザー法と高位結紮併用の工夫

Author：杉山悟(広島通信病院), 清水康廣

Source：静脈学(0915-7395)17巻2号 Page147(2006.05)

論文種類：会議録

シソーラス用語：*レーザー手術; 下肢(外科的療法); *血管外科; *結紮; *静脈瘤(外科的療法)

医中誌フリーキーワード：YAG レーザー

チェックタグ：ヒト

45. 2006201545

広島通信病院でのパルスヤグレーザークールタッチ CTEV の使用経験

Author：清水康廣(広島通信病院 外科), 杉山悟

Source：静脈学(0915-7395)17巻2号 Page144(2006.05)

論文種類：会議録

シソーラス用語：*レーザー手術; *血管外科; *結紮

チェックタグ：ヒト

46. 2006201490

日帰りに適したストリッピング術の工夫

Author：杉山悟(広島通信病院), 清水康廣

Source：静脈学(0915-7395)17巻2号 Page106(2006.05)

論文種類：会議録

シソーラス用語：*外来手術; 下肢(外科的療法); 局所麻酔; 結紮; 静脈内麻酔; *静脈瘤(外科的療法)

チェックタグ：ヒト

47. 2006191707

無症候性の肺塞栓症を合併した左大伏在静脈上行性血栓性静脈炎の1例

Author：大谷真二(広島通信病院 外科), 清水康廣, 杉山悟

Source：静脈学(0915-7395)17巻3号 Page207-211(2006.05)

論文種類：原著論文/症例報告

シソーラス用語：結紮; *静脈炎-血栓性(合併症,超音波診断,外科的療法); 超音波診断; *肺塞栓症(病因,超音波診断,外科的療法); *伏在静脈(超音波診断,外科的療法); 血栓摘出術

チェックタグ：ヒト; 老年者(65~79); 女

Abstract：症例は69歳,女性.2005年1月25日頃から左下腿内側に発赤,疼痛が出現し,徐々に大腿部へ拡大した.前医受診後,2月4日当院に紹介となった.来院時,左大腿から下腿にかけて大伏在静脈に沿って発赤を伴う硬結を触れ,両下肢に静脈瘤を認めた.超音波検査(duplex scan)で左大伏在静脈に下腿から大腿静脈接合部に及ぶ血栓を認めた.左大伏在静脈の上行性血栓性静脈炎と診断し,同日,緊急手術を行った.手術は左大伏在静脈を高位結紮後に血栓除去,選択的ストリッピングを追加した.経過良好で術後3日目に退院した.術後の肺血流シンチで両肺野に多発性の欠損像を認めたため,無症候性の肺塞栓症を合併した上行性血栓性静脈炎と診断した.血栓性静脈炎で血栓が中枢へ進展するものを上行性血栓性静脈炎というが,しばしば肺血栓塞栓症や深部静脈血栓症の原因となるため,可及的早期に手術あるいは抗凝固療法を行う必要がある(著者抄録)

48. 2006191705

無侵襲検査法からみた下肢静脈瘤の術式別の治療成績

Author：杉山悟(広島通信病院 外科), 清水康廣, 大谷真二

Source：静脈学(0915-7395)17巻3号 Page191-196(2006.05)

論文種類：原著論文

シソーラス用語：*下肢(X線診断); 結紮; 硬化療法; 静脈造影; *静脈瘤(X線診断,治療); 伏在静脈; 治療成績

チェックタグ：ヒト; 男; 女

Abstract：無侵襲検査法からみた下肢静脈瘤の術式別の治療成績を分析し,術式の妥当性を検討したので報告する.平成14年から平成16年までに,広島通信病院で手術を行った下肢静脈瘤症例のうち,大伏在静脈の選択的ストリッピングを行った(L-Str群)652肢,大伏在静脈の高位結紮と本幹硬化療法を行った(HL+Scl群)175肢,小伏在静脈の選択的ストリッピングを行った(S-Str群)107肢,Doddの穿通枝以下の限局的ストリッピングを行った(Dodd群)20肢を対象とした.術前にduplex scanおよびair plethysmographyを施行し,術後1ヵ月でair plethysmographyにより治療効果を判定した.大伏在静脈の平均径は,L-Str群

6.6mm,HL+Scl 群 5.3mm,Dodd 群 5.3mm であった.S-Str 群で小伏在静脈の平均径は7.4mm であった.VFI(venous filling index)の平均値は術後全群で正常化した(L-Str 群:平均 5.5ml/sec から 1.6ml/sec,HL+Scl 群:平均 2.9ml/sec から 1.3ml/sec,S-Str 群:平均 3.4ml/sec から 1.7ml/sec,Dodd 群:平均 2.8ml/sec から 1.5ml/sec).術前の無侵襲検査法によって静脈逆流の部位および程度を診断し,術式を的確に選択することにより,どのタイプの下肢静脈瘤とも満足すべき治療効果が得られたと考える(著者抄録)

49. 2006155094

発熱を主訴とし術前に内視鏡にて診断しえた空腸 Gastrointestinal stromal tumor(GIST)の一例

Author : 宮下真奈備(広島通信病院 健康管理科), 木原康裕, 澤山智之, 佐藤直樹, 三亀宏, 井上純一, 湊武, 杉山悟, 宮出喜生, 大谷真二, 清水康廣, 中山宏文, 安井弥

Source : 日本消化器病学会雑誌(0446-6586)101 巻臨増大会 PageA738(2004.09)

論文種類 : 会議録/症例報告

シソーラス用語 : *空腸腫瘍(悪性,診断,外科的療法); 内視鏡法; 発熱; Gastrointestinal Stromal Tumor(診断,外科的療法); 小腸切除

チェックタグ : ヒト; 中年(45~64); 男

50. 2006091694

広島市における乳がん罹患率の推移

Author : 杉山裕美(放射線影響研究所 疫学部), 西信雄, 笠置文善, 片山博昭, 児玉和紀, 藤原恵, 伊藤千賀子, 福原敏行, 松浦博夫, 杉山悟, 高田耕基, 山東敬弘, 実綿啓明, 栗栖佳宏, 好永順二, 伊予田邦昭, 山本昌弘, 桑原正雄, 平松恵一, 有田健一, 安井弥

Source : 広島医学(0367-5904)58 巻 11 号 Page639-642(2005.11)

論文種類 : 原著論文

シソーラス用語 : 上皮内癌; 乳管癌; *乳房腫瘍(悪性,疫学); 発生率; 年次報告; 広島市

チェックタグ : ヒト; 成人(19~44); 中年(45~64); 老年者(65~79); 老年者-80歳以上; 女

Abstract: 1957~1999年の広島市における女性乳がん症例 6953件を対象とし,新規罹患数,年齢調整罹患率,組織型分類割合の年次推移を検討した.1年間の新規罹患数は急増しており,乳がんの全がんに占める割合は,10%程度から近年は 20%近くになっていた.乳がんの年齢調整罹患率も増加傾向にあり全国推計値と比較したところ,1999年の罹患率は広島で44.8/10万人,全国推計値は36/10万人であった.組織型別では浸潤性乳管癌が全期間で83%を占めており増加傾向にあった.1994~1999年の年齢階級別罹患率は45~49歳と60~64歳にピークがみられ,罹患率は各々143.9/10万人,139/10万人であった.同市における乳癌罹患件数は急増傾向にあり,今後も推移を観察していくことが必要であると考えられた

51. 2006039189

当院における鼠径ヘルニア根治術式の変遷

Author : 大谷裕(広島通信病院 外科), 因来泰彦, 杉山悟, 清水康廣

Source : 日本臨床外科学会雑誌(1345-2843)66 巻増刊 Page537(2005.10)

論文種類 : 会議録

シソーラス用語 : 外科用メッシュ; *鼠径ヘルニア(外科的療法); 入院期間

チェックタグ : ヒト; 青年期(13~18); 成人(19~44); 中年(45~64); 老年者(65~79); 老年者-80 歳以上; 男; 女

52. 2006026411

下肢静脈瘤の有痛性筋痙攣に対する芍薬甘草湯の効果

Author : 大谷真二(広島通信病院 外科), 清水康廣, 杉山悟, 宮出喜生

Source : 漢方医学(0288-2485)29 巻 5 号 Page221-223(2005.10)

論文種類 : 原著論文

シソーラス用語 : プレチスモグラフィ; 下肢筋; *筋けいれん(合併症,薬物療法,予後); 静脈瘤(合併症); 投薬計画; 経口投与; 伏在静脈; *芍薬甘草湯(治療的利用,薬理学)

チェックタグ : ヒト; 中年(45~64); 老年者(65~79); 老年者-80 歳以上; 男; 女

Abstract : 下肢静脈瘤のうち大伏在静脈,小伏在静脈,穿通枝のいずれかに逆流を認める伏在静脈瘤で,週 1 回以上の有痛性筋痙攣を有する 20 例に芍薬甘草湯を使用し,有用性を検討した.全例に有効で,15 例で有痛性筋痙攣が完全に消失し,5 例で頻度の減少と症状の軽減を認めた.有痛性筋痙攣が完全消失するまでの時間は,服用直後(5 例)から数日以内(10 例)であった.また,臨床上問題となる副作用は認めなかった.芍薬甘草湯は下肢静脈瘤における有痛性筋痙攣において,高い奏効率と即効性を有することが示唆された

53. 2005290643

泡状硬化剤による大伏在静脈瘤に対する本幹硬化療法

Author : 杉山悟(広島通信病院 外科), 清水康廣, 宮出喜生, 大谷真二

Source : 通信医学(0387-1320)57 巻 3 号 Page199-200(2005.06)

論文種類 : 原著論文/比較研究

シソーラス用語 : 機器と資材用品; 結紮; 硬化剤(治療的利用); 硬化療法; *静脈瘤(薬物療法,外科的療法); *伏在静脈(外科的療法)

チェックタグ : ヒト

Abstract : 大伏在静脈(LSV)瘤 34 例の高位・膝下結紮離断術に泡状硬化剤による本幹硬化療法を併用し,術後の LSV 閉鎖状況を検討した.その結果,VFI(Venous Filling Index)による評価では,LSV の閉鎖率は術後 3 ヶ月で 91.2%,6 ヶ月 85.3%,1 年 73.5%で,再発はみられなかった.一方,高位・膝下結紮のみ行ったコントロール群 36 肢では,部分的に閉鎖しているも

のを含め LSV の閉鎖率は 19.4%と有意に低率であった.更に LSV 瘤 60 肢の高位・膝下結紮離断術において,泡状硬化剤に内膜擦過法を加えた本幹硬化療法を行ったところ,LSV の閉鎖率は術後 3 ヶ月で 100%,6 ヶ月で 97%,1 年以上経過した時点で 88%と,より良好な結果が得られた.合併症は軽度の血栓性静脈炎を 4 肢に認め,再発はみられなかった

54. 2005268274

柿の種子が誘因となって発症した大腸癌イレウスの 1 例

Author : 大谷真二(広島通信病院 外科), 清水康廣, 杉山悟, 宮出喜生

Source : 日本臨床外科学会雑誌(1345-2843)66 巻 8 号 Page1960-1963(2005.08)

論文種類 : 原著論文/症例報告

シソーラス用語 : 結腸切除; 種子; *大腸腫瘍(悪性,合併症); X 線 CT; *腸閉塞(病因,外科的療法,画像診断); 腹部 X 線診断; リンパ節郭清

医中誌フリーキーワード : 柿; 腹部 CT

チェックタグ : ヒト; 老年者・80 歳以上; 男

Abstract : 症例は 82 歳,男性.腹部膨満,腹痛を主訴に外来受診した.頻回の開腹歴と問診から食餌性イレウスを疑い,入院後に保存的治療を開始した.腹部 CT 所見および腫瘍マーカーから肝転移を伴う進行大腸癌による腫瘍性イレウスと診断して手術を行った.手術所見では回盲弁付近の盲腸と肝彎曲のやや口側の上行結腸にそれぞれ 4cm 大の腫瘍を触れ,D2 郭清を伴う結腸右半切除術を施行した.切除標本では上行結腸に全周性の腫瘍と盲腸に柿の種子 5 個を認めた.経過は良好で,術後 26 日目に退院となった.柿の種子は CT では三日月状から楕円状の高吸収域として認めるが,本症例は柿の種子が誘因となって発症した大腸癌イレウスであった.本邦で食餌が原因となった腫瘍性イレウスの報告はほとんどされていないが,柿の種子もイレウスの原因となることがあり,詳細な問診と CT による診断が有用であると考えられた(著者抄録)

55. 2005261879

大伏在静脈の静脈瘤に合併した上行性血栓性静脈炎の 2 手術例

Author : 大谷真二(広島通信病院 外科), 清水康廣, 杉山悟

Source : 静脈学(0915-7395)16 巻 2 号 Page129-133(2005.05)

論文種類 : 原著論文/症例報告

シソーラス用語 : 下肢; 結紮; *静脈炎-血栓性(合併症,画像診断,外科的療法); 静脈瘤(合併症,画像診断,外科的療法); *伏在静脈(合併症,画像診断,外科的療法); 血栓摘出術

チェックタグ : ヒト; 中年(45~64); 老年者(65~79); 女

Abstract : 症例 1(71 歳女).患者は両下肢静脈瘤と左大腿内側末梢 1/3 に発赤,圧痛を認め,膝関節内側部から大伏在-大腿静脈接合部(SFJ)付近の大伏在静脈に硬結が確認された.左大伏在静脈血栓性静脈炎,両下肢静脈瘤と診断し,入院 3 日目に手術を施行した.左は SFJ から膝

関節内側部下腿まで,右は Dodd 不全穿通枝以下の大伏在静脈で選択的ストリッピングを行ない,更に両下腿の硬化療法を追加した.症例 2(53 歳女).患者は以前より両下肢静脈瘤が認められ,今回,右下腿内側に発赤,疼痛を伴う硬結が出現した.右大伏在静脈血栓性静脈炎,両下肢静脈瘤と診断し,右大伏在静脈を SFJ で結紮切離した.右 SFJ から膝関節内側部下腿までの大伏在静脈選択的ストリッピングと,右下腿部 2 ヶ所での小切開での血栓除去を施行,以後あわせて右小伏在静脈のストリッピングも行った

56. 2005248882

無侵襲検査法からみた下肢静脈瘤の術式別の治療成績

Author : 杉山悟(広島通信病院), 清水康廣, 大谷真二

Source : 静脈学(0915-7395)16 卷 3 号 Page222(2005.06)

論文種類 : 会議録

シソーラス用語 : プレチスモグラフィー; 下肢(外科的療法); 静脈瘤(外科的療法,診断); 術前診断; 二重 Doppler 超音波診断; 治療成績

医中誌フリーキーワード : 空気プレチスモグラフィー; *非侵襲的診断

チェックタグ : ヒト

57. 2005248865

大伏在静脈瘤の新しい治療法 本幹硬化療法併用内膜擦過法の有効性について

Author : 清水康廣(広島通信病院 外科), 杉山悟, 大谷真二

Source : 静脈学(0915-7395)16 卷 3 号 Page209(2005.06)

論文種類 : 会議録

シソーラス用語 : 硬化剤(治療的利用); 硬化療法; *静脈瘤(治療); *伏在静脈; 血管内膜

医中誌フリーキーワード : 併用療法

チェックタグ : ヒト

58. 2005248859

泡状硬化剤による大伏在静脈瘤に対する本幹硬化療法の治療成績

Author : 杉山悟(広島通信病院 外科), 清水康廣, 大谷真二

Source : 静脈学(0915-7395)16 卷 3 号 Page206(2005.06)

論文種類 : 会議録

シソーラス用語 : *硬化剤(治療的利用); 硬化療法; *静脈瘤(治療); 伏在静脈; 治療成績

チェックタグ : ヒト

59. 2005240871

動脈硬化病変の評価 あらゆる指標を活用して 検査結果をどう捉えるか

Author : 杉山悟(広島通信病院 外科)

Source : 中国四国医学検査学会抄録集(1346-9002)37 回 Page43(2004.11)

論文種類 : 会議録

シソーラス用語 : *動脈硬化症(診断); 脈拍

医中誌フリーキーワード : 脈波伝播速度

チェックタグ : ヒト; 成人(19~44); 中年(45~64); 老年者(65~79); 老年者-80 歳以上; 男; 女

60. 2005235895

多発性の穿孔をきたした小腸潰瘍の 1 例

Author : 大谷真二(広島通信病院 外科), 清水康廣, 杉山悟, 宮出喜生

Source : 広島医学(0367-5904)58 巻 5 号 Page337-340(2005.05)

論文種類 : 原著論文/症例報告

シソーラス用語 : 潰瘍(合併症,外科的療法); *腸穿孔(病因,外科的療法); 腹膜炎(病因,外科的療法); 小腸疾患(合併症,外科的療法); 小腸切除

医中誌フリーキーワード : *小腸潰瘍(合併症,外科的療法)

チェックタグ : ヒト; 老年者-80 歳以上; 女

Abstract : 83 歳女.患者は閉塞性黄疸が出現して十二指腸乳頭部癌と診断されたが,根治術は行わず,ERBD ステンチューブを挿入され,経過観察されていた.1 年後,転倒して打撲し,5 日間ジクロフェナクを内服した.それ以前に NSAID の常用歴はなかった.その後,軽い腹痛が出現し,徐々に食欲が低下して嘔吐を伴うようになり,更に腹部全体の激痛となった.腹部 X 線では右横隔膜下 free air と小腸ガスを認め,この時すでに ERBD ステンチューブは認められなかった.手術を施行したところ,回腸弁から 30cm までの回腸に穿孔部を認め,この穿孔部分を含めて約 40cm の回腸を切除した.切除標本では潰瘍は粘膜面に多発しており,穿孔部 2 ヶ所と漿膜のみが保たれた潰瘍性病変が 2 ヶ所認められた.術後は経過順調であったが,肝機能障害が出現し,ERBD ステンチューブの脱落と乳頭部癌の増大が原因と考えられた.そこで,ERBD ステンチューブを再挿入し,以後は経過良好となった

61. 2005234106

大伏在静脈瘤に対する本幹硬化療法の新しい治療戦略 内膜擦過を併用した泡状硬化剤による本幹硬化療法

Author : 杉山悟(広島通信病院), 清水康廣, 宮出喜生, 大谷真二

Source : 日本外科学会雑誌(0301-4894)106 巻臨増 Page564(2005.04)

論文種類 : 会議録

シソーラス用語 : 硬化剤; *静脈瘤(治療); 伏在静脈

チェックタグ : ヒト

62. 2005203595

術後肝転移再発に対してメシル酸イマチニブが奏効した空腸原発 gastrointestinal stromal tumor(GIST)の1例

Author : 宮下真奈備(広島通信病院 内科・健康管理科), 澤山智之, 木原康裕, 近藤直樹, 三亀宏, 井上純一, 湊武, 杉山悟, 宮出喜生, 大谷真二, 清水康廣, 中山宏文, 安井弥

Source : 広島医学(0367-5904)58 巻 4 号 Page292-297(2005.04)

論文種類 : 原著論文/症例報告

シソーラス用語 : 肝臓腫瘍(X 線診断,薬物療法,転移性); *空腸腫瘍(診断,外科的療法,悪性); 腫瘍再発(X 線診断,薬物療法); X 線 CT; 経口投与; 腹部 X 線診断; 有糸分裂指数; kit 癌原遺伝子蛋白質; *Gastrointestinal Stromal Tumor(診断,薬物療法,転移性); 小腸切除; Imatinib(治療的利用,毒性・副作用)

医中誌フリーキーワード : 腹部 CT

チェックタグ : ヒト; 中年(45~64); 男

Abstract : 57 歳男.空腸に悪性消化管間葉系腫瘍(GIST)を認め,空腸部分切除を行った.腫瘍は 120×110mm 大で,紡錘形の核を有する腫瘍細胞が索状に密に増殖し,mitotic index は 60/10hpf,c-kit 染色陽性であった.術前の CT では他臓器に腫瘍はみられなかったが,術後 1 年の CT で肝両葉に多数の腫瘍を認め,GIST の肝転移再発と考えた.イマチニブの内服を開始したところ肝転移巣は徐々に縮小し,1 年後の RECIST ガイドラインによる効果判定は部分寛解 PR であった.有害事象として,一時的な全身のそう痒感が出現した

63. 2005140492

両側大伏在静脈の静脈瘤(varicose vein)を合併した両側小伏在静脈 venous aneurysm の1例

Author : 大谷真二(広島通信病院 外科), 清水康廣, 杉山悟, 宮出喜生

Source : 通信医学(0387-1320)57 巻 1 号 Page37-40(2005.01)

論文種類 : 原著論文/症例報告

シソーラス用語 : 下肢(超音波診断,外科的療法); 血管外科; 静脈造影; *静脈瘤(超音波診断,外科的療法,合併症); 超音波診断; 伏在静脈(超音波診断,外科的療法)

医中誌フリーキーワード : *Venous Aneurysm(超音波診断,外科的療法,合併症)

チェックタグ : ヒト; 中年(45~64); 女

Abstract : 47 歳女性.患者は 10 年以上前からの両下肢静脈瘤で両下肢倦怠感の増強があり,今回,両膝窩部に出現した腫瘍の増大傾向により受診となった.所見では,右膝窩部に 60×50mm,左膝窩部に 65×40mm の柔らかい腫瘍を触知し,両側大伏在静脈には伏在型静脈瘤を認めた.超音波検査では両膝窩部にそれぞれ限局性の瘤状静脈と,流入および流出静脈を各々 1 本ずつ認め,両側大伏在静脈は大腿部中央で拡張し,両側とも sapheno-femoral

junction に逆流を認めた.更に静脈造影では両側膝窩部の小伏在静脈に瘤状変化と,各々1本ずつの流入と流出静脈を認めた.以上,これらの点から両側小伏在静脈の venous aneurysm と両側大伏在静脈瘤と診断し,両側小伏在静脈 venous aneurysm 切除術と両側大伏在静脈の選択的ストリッピングを行った.その結果,術後は経過良好であった

64. 2005125296

両側小伏在静脈 venous aneurysm の 2 例

Author : 大谷真二(広島通信病院 外科), 清水康廣, 杉山悟, 宮出喜生

Source : 広島医学(0367-5904)58 巻 2 号 Page182(2005.02)

論文種類 : 会議録/症例報告

シソーラス用語 : 静脈瘤; 動脈瘤; *伏在静脈

医中誌フリーキーワード : *Venous Aneurysm

チェックタグ : ヒト; 老年者(65~79); 女

65. 2005125280

虫垂炎を合併した盲腸癌の 1 例

Author : 大谷真二(広島通信病院 外科), 清水康廣, 杉山悟, 宮出喜生

Source : 広島医学(0367-5904)58 巻 2 号 Page178(2005.02)

論文種類 : 会議録/症例報告

シソーラス用語 : *虫垂炎(合併症); *盲腸腫瘍(悪性,合併症)

チェックタグ : ヒト; 中年(45~64); 女

66. 2005125268

Paclitaxel,5-fluorouracil 併用療法が奏効して QOL を改善し,内瘻化に成功した進行再発胃癌の 1 例

Author : 大谷真二(広島通信病院 外科), 清水康廣, 杉山悟, 宮出喜生, 二宮基樹

Source : 広島医学(0367-5904)58 巻 2 号 Page175(2005.02)

論文種類 : 会議録/症例報告

シソーラス用語 : *Fluorouracil(治療的利用); *胃腫瘍(悪性,薬物療法); 腫瘍多剤併用療法; 腫瘍再発; 腫瘍進行度; 生活の質; 瘻孔; Paclitaxel(治療的利用)

チェックタグ : ヒト; 中年(45~64); 女

67. 2005119252

下肢静脈瘤に対する内視鏡下筋膜下穿通枝切離術 one port system と two port system の比較

Author : 杉山悟(広島通信病院 外科), 清水康廣, 宮出喜生, 大谷真二

Source : 通信医学(0387-1320)56 卷 5 号 Page337-340(2004.12)

論文種類 : 原著論文/比較研究

シソーラス用語 : 筋膜(外科的療法); 血管外科; 結紮; 硬化症(合併症); *静脈瘤性潰瘍(合併症,外科的療法); 内視鏡法; 治療成績

医中誌フリーキーワード : *内視鏡的筋膜下穿通枝手術

チェックタグ : ヒト; 成人(19~44); 中年(45~64); 老年者(65~79); 男; 女

Abstract : 皮膚病変を有する下肢静脈瘤(C4 以上)で,不全穿通枝の確実な結紮を目的とした内視鏡下筋膜下穿通枝結紮術(SEPS)が適応となった 11 例を対象とした.静脈性の lipodermatosclerosis 2 例,下腿潰瘍 7 例,post thrombotic syndrome 2 例であった.最初の 6 例に対しては,two port system で行い,最近の 5 例に対しては,one port system で行った.全例に治癒を認めた.one port の方が,操作性が簡便であった.症例を示した.59 歳男.30 年前に両側深部静脈血栓症の診断を受けていた.7 年ほど前に左下腿に潰瘍が出現し次第に増悪した.保存的治療を行ったが治癒しなかった.Duplex scan にて潰瘍底に穿通枝を認めたため,SEPS を施行した.最終的に潰瘍は約 1 ヶ月で治癒した

68. 2005100855

両側小伏在静脈に発生した venous aneurysm の 1 切除例

Author : 大谷真二(広島通信病院 外科), 清水康廣, 杉山悟, 宮出喜生

Source : 広島医学(0367-5904)57 卷 11 号 Page880-882(2004.11)

論文種類 : 原著論文/症例報告

シソーラス用語 : 血管外科; *膝窩静脈(画像診断,外科的療法); 静脈造影; 静脈瘤(外科的療法,画像診断); 超音波診断; 伏在静脈

医中誌フリーキーワード : *Venous Aneurysm(外科的療法,画像診断)

チェックタグ : ヒト; 老年者(65~79); 女

Abstract : 65 歳女性.患者は両側膝窩部皮下腫瘤を主訴に,精査加療目的で著者らの施設へ入院となった.入院時,立位で右膝窩部に 45×35mm,左膝窩部に 35×25mm の柔らかい腫瘤が触知された.超音波検査では,両側膝窩部小伏在静脈に内部に血流のある限局性の瘤状静脈を認め,流入,流出静脈が各々 1 本ずつ確認された.以上より,両側膝窩部小伏在静脈に発生した venous aneurysm と診断し,外科的切除を行った.なお,今回は静脈再建は行わなかった.術後は弾性ストッキング着用を追加し,静脈うっ滞などの合併症もなく,順調に回復した

69. 2005074230

Paclitaxel,5-Fluorouracil 併用療法が奏効して QOL を改善し内瘻化に成功した進行再発胃癌の 1 例

Author : 大谷真二(広島通信病院 外科), 清水康廣, 杉山悟, 宮出喜生, 二宮基樹

Source : 癌と化学療法(0385-0684)32 卷 1 号 Page81-84(2005.01)

論文種類：原著論文/症例報告

シソーラス用語：Fluorouracil(治療的利用,毒性・副作用); *胃腫瘍(外科的療法,薬物療法,X線診断); 胃切除; 腫瘍多剤併用療法(有害作用); 腫瘍再発; 生活の質; X線 CT; 腹部 X線診断; 瘻孔; *Paclitaxel(治療的利用,毒性・副作用)

医中誌フリーキーワード：腹部 CT

チェックタグ：ヒト; 中年(45~64); 女

Abstract：症例は49歳,女性.2001年3月9日に Borrmann 4型胃癌に対して胃全摘術,D2郭清を施行した.病理診断は sig,T3(SE),N2,H0,P1,CY0,M0,Stage IV,根治度 Cであった.術後より補助化学療法として 5'-DFUR 800mg の連日投与に加えて CDDP 10mg/body の腹腔内投与と 5-fluorouracil(5-FU)500mg/body の静脈内投与を週1回行い tumor dormancy の状態を得ていた.2003年4月,腹膜播種に伴う腹水貯留,閉塞性黄疸,右水腎症により再燃したため PTCD を行った.しかし総胆管は完全閉塞していたため,胆道ステントの挿入は不可能であった.2003年6月より paclitaxel(Taxol:TXL)と 5-FU による併用化学療法を開始した.レジメンは 5-FU 600mg/m²/day を day 1~5 に 24時間連続投与した後に TXL 80mg/m² を day 8,15,22 に各々経静脈投与し,28日を1コースとした.2コース終了時点で腹水と播種性病変は消失し,腫大リンパ節の縮小も認めた.4コース終了後には胆道ステントの留置,内瘻化が可能となり QOL低下の原因となっていた PTCD tube を抜去し得た.有害事象は脱毛,軽度の関節痛,易疲労感,感覚性末梢神経障害を認めるのみで重篤なものは認めなかった.6コース終了時点で腫瘍マーカーの上昇,臍頭部病変の軽度増大傾向を認めるものの,自覚症状の改善および腹水,播種性病変の消失は続いており QOL が良好に保たれたまま,現在も継続治療中である(著者抄録)

70. 2005053396

労作時呼吸困難を主訴とし胸水貯留を伴った腹膜漿液性乳頭状腺癌の1例

Author：宮出喜生(広島通信病院 外科), 清水康廣, 杉山悟, 大谷真二, 山本澄治, 土手秀昭

Source：日本癌治療学会誌(0021-4671)39巻2号 Page865(2004.09)

論文種類：会議録/症例報告

シソーラス用語：Cisplatin(治療的利用); Epirubicin(治療的利用); 胸水(合併症); 呼吸困難(合併症); 腺癌-乳頭状(薬物療法); *腹膜腫瘍(悪性,合併症,薬物療法); Mitomycin(治療的利用)

チェックタグ：ヒト; 老年者(65~79); 女

71. 2005040077

虫垂炎を合併した盲腸癌の1例

Author：大谷真二(広島通信病院 外科), 清水康廣, 杉山悟, 宮出喜生

Source：広島医学(0367-5904)57巻9号 Page758-761(2004.09)

論文種類：原著論文/症例報告

シソーラス用語：結腸切除；腺癌(合併症,外科的療法)；X線CT；*虫垂炎(合併症,外科的療法)；腹部X線診断；*盲腸腫瘍(合併症,悪性,外科的療法)；リンパ節郭清

医中誌フリーキーワード：腹部CT

チェックタグ：ヒト；中年(45～64)；女

Abstract：50歳女性.患者は右下腹部痛を主訴に受診し,所見では右下腹部およびMcBurney点を中心に自発痛,圧痛が認められた.CTでは腫大した虫垂と回盲部の炎症所見を認め,急性虫垂炎と診断して入院,手術を勧めたが同意を得られず,抗生剤の点滴投与により症状の改善と一時炎症反応が改善したものの,その後,再度右下腹部痛が生じ,これは連日の抗生剤投与と補液でも改善しなかった.CTで観察したところ虫垂周囲の炎症像の増悪と小腸の腸液貯留が認められ,イレウスと診断し手術となった.術中所見では虫垂は肥厚して腫大し,盲腸との強い癒着で剥離不能であった.また,盲腸に4cm大の弾性硬の腫瘤を認め,盲腸癌の術中診断により右半結腸切除術,3群リンパ節郭清を行った.病理組織所見では中分化腺癌,Stage IIIaであった.術後は虫垂には中等度の炎症が認められたものの癌の浸潤は認めなかった

72. 2005032297

大伏在静脈瘤に対する内膜擦過を併用した泡状硬化剤による本幹硬化療法

Author：杉山悟(広島通信病院 外科), 清水康廣, 宮出喜生, 大谷真二

Source：日本血管外科学会雑誌(0918-6778)13巻6号 Page636(2004.10)

論文種類：会議録

シソーラス用語：硬化療法；*静脈瘤(治療)；*伏在静脈；Polidocanol(治療的利用)

チェックタグ：ヒト

73. 2005011290

超音波検診を契機に発見された両側乳癌の1例

Author：宮出喜生(広島通信病院 外科), 清水康廣, 大谷真二, 杉山悟, 檜垣健二

Source：日本乳癌検診学会誌(0918-0729)13巻3号 Page445(2004.09)

論文種類：会議録/症例報告

シソーラス用語：集団検診；*乳房腫瘍(悪性,超音波診断)；乳房超音波診断

チェックタグ：ヒト；中年(45～64)；女